



年末年始 窓口と施設の休業期間……	7面
子育ての応援団 ファミリー・サポート・センター……	9面
新春歩け歩けのつどい……	12面



大掃除前に ごみの捨て方の確認を

年末は大掃除などで、たくさんごみが出やすい時期です。しかし、直近の調査では、ごみの約2割が誤った分別で、中にはリサイクルできる資源も捨てられていることがわかりました。また、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で在宅時間が長くなり、令和2年4月から9月までに収集したごみの量は、前年同月間に比べ増加しました。捨てるごみを減らす工夫をして、分別を再確認しませんか。

問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535

ごみの約2割は分別が不十分 分ければ資源、混ぜればごみ

誤ったごみの分別で、リサイクルできる資源がごみとして出されています。誤ったごみや資源の分別の例を紹介します。

燃やすごみの19.7%は分別が不十分

分別が出来ていなかったものの内訳は、13.8%が資源、3.4%がプラスチック製容器包装、2.5%が燃やさないごみでした。

特に、雑がみ、雑誌、古布(古着)、ふとんなどのリサイクルできる資源が燃やすごみに混ぜていました。

燃やさないごみの26.5%は分別が不十分

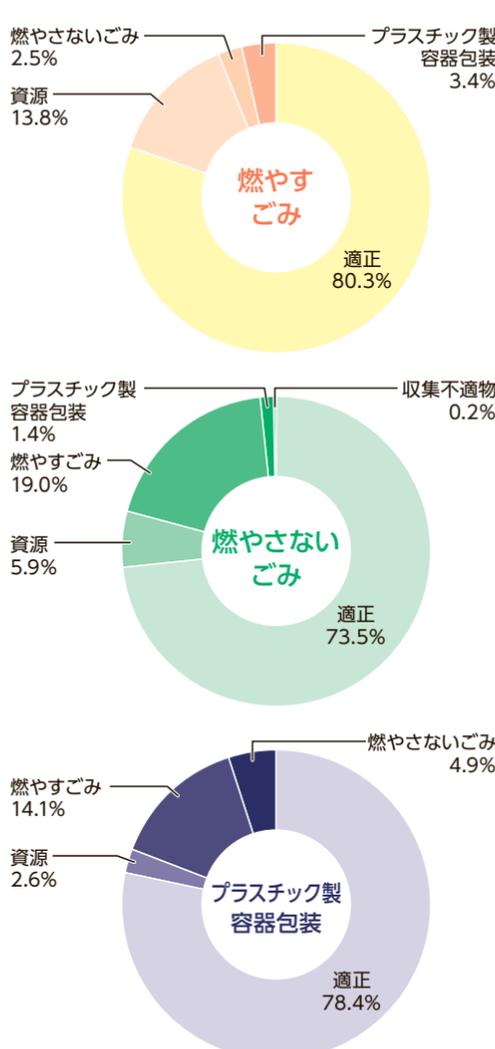
分別が出来ていなかったものの内訳は、19.0%が燃やすごみ、5.9%が資源、1.4%がプラスチック製容器包装、0.2%が石や土などの市では収集できないもの(収集不適物)でした。特に、ゴム・皮革類・ビニール製などの燃やすごみが、多く混ぜていました。

プラスチック製容器包装の21.6%は分別が不十分

分別が出来ていなかったものの内訳は、14.1%が燃やすごみ、4.9%が燃やさないごみ、2.6%が資源でした。特に、燃やすごみである汚れたプラスチック製容器包装や、燃やさないごみである15センチ以上のプラスチック製品などが多く混ぜていました。

きちんと分別してごみを減らすために、正しい分別やごみを減らす工夫を紹介します。詳しくは、2～4面をご覧ください。

収集ごみ別の組成割合



令和2年ごみ組成分析調査より

令和2年4月から9月までのごみ収集量は 前年より約1割増加

燃やさないごみは約4割増加

令和2年4月から9月までのごみ(燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装)収集量は、16,413トンを越えました。これは一般的な収集車両(2トンの約8,206台分)で、前年同月間に比べ、約1割増えています。特に、燃やさないごみは約4割増えています。前年同月間からの増加量と増加率を紹介します。

燃やすごみの量は 8.1%増加

燃やすごみの量は約1,073トン、約8.1%増加しています。

一般的な収集車両(2トン)



×
約536台分増加

燃やさないごみの量は 44.8%増加

燃やさないごみの量は、約291トン、約44.8%と大幅に増加しています。



×
約145台分増加

プラスチック製容器包装 の量は、5.8%増加

プラスチック製容器包装の量は、約63トン、約5.8%増加しています。



×
約31台分増加

※それぞれのごみの量は速報値です。